

公安委員会定例会議(第17回)の開催状況

第1 日 時 令和3年7月7日(水)

午後1時30分 ～ 午後4時00分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、増田委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長

刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長

総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員長説示

今日は、モノづくりの現場でよく使われる言葉である「現場力」について話します。

先般、複数の鉄工所経営者と話す機会がありましたが、皆が口をそろえて言うのは、「当社では現場力の低下が著しい」、「プログラミングした機械で製造するから、機械の使い方は分かっても、製品に不具合があればどうしてよいか分からず右往左往している」、「教える側もマニュアルで教えるから、現場で不具合が生じても即対応できない」などということでした。

20年前の話にはなりますが、日本有数の電機メーカーの新入社員教育では、1週間にわたってヤスリがけの訓練を行い、鉄を削る感覚を身をもって覚えさせるなど、基礎を叩き込むそうです。そうすることで、問題が発生した場合に、現場の判断で迅速的確な対応を取ることができるようになるということでした。

県警の業務でも、様々な現場において臨機応変に対応しなければならないことは多々あると思います。職員一人一人にしっかりと基礎を身に付けさせた上で、様々な経験を積み重ねて現場力を高めていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和3年第16回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 審査請求の申立て

警務部から、審査請求の申立てに関する伺い等があり了承した。

3 報告事項

(1) 令和3年度警察官及び警察事務職員の採用募集活動

警務部長から、令和3年度警察官（高校卒程度）及び警察事務職員（初級）の採用募集活動について報告があった。

委員から、「オープンアカデミーは、採用前に警察学校の授業を体験できるなどよい試みである」との発言があった。

委員から、「最近の若者は、金銭的な面より働き甲斐を求めている場合が多いと感じている。引き続き、若者の気持ちを惹きつけ、夢を持たせるための工夫を行っていただきたい」との発言があった。

(2) 繁華街・歓楽街対策の推進（生活安全部）

生活安全部長から、6月28日、繁華街・歓楽街対策の一環として、愛媛県迷惑行為防止条例違反事件の被疑者2名を逮捕した旨報告があった。

委員から、「悪質な個人、業者の取締りを積極的に行うなど、引き続き、繁華街・歓楽街対策を推進していただきたい」との発言があった。

(3) 繁華街・歓楽街対策の推進（刑事部）

刑事部長から、6月30日、繁華街・歓楽街対策の一環として、松山市暴力団排除条例違反事件の被疑者2名を逮捕した旨報告があった。

委員から、「ち密な捜査で被疑者を検挙している。引き続き、積極的な繁華街・歓楽街対策を推進していただきたい」との発言があった。

(4) 特殊詐欺事件被疑者の逮捕

刑事部長から、6月23日、特殊詐欺（キャッシュカード詐欺盗）事件被疑者を逮捕した旨報告があった。

委員から、「依然として特殊詐欺の被害が発生しており、引き続き、特殊詐欺未然防止に向けた広報を充実させていただきたい」との発言があった。

委員から、「早期に検挙できよかったと思う。引き続き、声掛けの徹底などにより、詐欺被害の防止を図っていただきたい」との発言があった。

(5) 会計検査院による会計検査の講評

警務部から、会計検査院による会計検査の講評について報告があった。

(6) 文化財保護法違反・建造物損壊等事件被疑者の起訴

刑事部から、文化財保護法違反・建造物損壊等事件被疑者の起訴について報告があった。

4 その他

- (1) 6月28日に開催された第1回新居浜警察署協議会の開催状況及び6月30日に開催された第1回宇和島警察署協議会の開催状況について、出席した委員から、それぞれ報告があった。
- (2) 本部長から、「委員長説示のとおり、現場力は警察業務でも大事なことである。社会全体の傾向として、自主性、自発性を有する若者が減っているとされている中、そのような若手を現場で鍛える仕組みを整備するなどして現場力をアップさせていくことと、幹部として、組織として、現場に寄り添っていくこと、この2点を大事にしつつ、よりよい警察組織を作っていきたい」との発言があった。
- (3) 7月13日をもって任期満了により愛媛県公安委員会委員を退任する増田委員からあいさつがあった。また、出席者が増田委員の長年の功績に対し謝辞を述べた。

以 上